

第7次中期経営計画

経営理念

ぬくもりのある信頼づくり」

（農家組合員、地域住民の人々に、常に存在価値を認められるよう、一人ひとりが自らの行動に責任をもち、あたたかい親切な心で誠意をもって接し、信頼づくりの輪を広げます。）

めざす姿

「協同活動と総合事業で食と農を支え、豊かな暮らしと活力ある地域社会を実現する」

重点項目

農業所得の増大
農業生産の拡大

組織基盤の強化
経営基盤の強化

地域社会への貢献
農業への理解醸成

部門ビジョン

営農販売

農業所得の増大と農業生産の拡大を図り、地域の活性化に努める

経済

農業生産コスト抑制および安心して継続的に提供できるサービスを図る。地産地消の取り扱いと生活必要商品の安定供給を通して地域貢献に努める

信用

総合事業性を最大限に発揮し農業を基盤とした金融機関として、「農業・暮らし・地域」各領域を組合員利用者目線にたち、つながる金融サービスを目指す

共済

JA島原雲仙「一運動」実践により、事業・部門の垣根を超えた接点創出による寄り添う活動に取り組む

経営管理

くらしの向上と地域社会の活性化に貢献するため、協同組合らしい人づくりや働きやすい職場づくり、組合員との接点を増やすための広報活動に取り組み、持続可能な組織・経営の実現を目指す

基本計画

営農指導の充実強化

JA島原雲仙ブランドの販売力強化

担い手への支援強化

安定した畜産経営と「長崎和牛」のブランド強化

予約体制・物流コスト低減による価格抑制および取り扱い拡大

利用者に対するサービスの充実

事業体制の検討と職員教育

貸出の強化

ライフプランサポートの実践

事業運営体制の強化

事業推進体制の充実・強化

窓口体制の充実・強化

人材育成への取り組み強化

役職員の意識改革による質的向上と組織の活性化

組合員・地域住民に信頼されるJAづくりへの取り組み・広報活動

コンプライアンス態勢の充実・強化

経営基盤の強化